

学校事務部会

発表者 茨木市立豊川中学校 主査 井上 智弘

自分たちが研究し、日々実践していく先には子どもたちの姿があります。私たち学校事務職員は子どもたち・保護者・地域・教職員にとって最適な教育環境・最新の情報を提供し、様々な職種・地域社会との協働で職場の活性化を促進する方向で研究しています。研究集会での報告のとおり、今年度の研究テーマ「学校事務の確立と創造」のもとで3つのブロック制による研究体制をとっています。また報告を通じ、多くの方々に研究活動を知ってもらうことができました。以下は報告の際、参加の皆様にお配りした資料です。今後ともよろしくお願ひします。

職務内容研究ブロック

研究目標「効果的な予算運営・予算委員会をめざして」具体的実践例をとおして

<今年度の取り組み>

茨木市内の現状把握のため「学校予算に関わるアンケート」調査を実施し集約結果を公表する。

ブロック内で「学校予算」における実践報告会をもち意見交流を行う。

について

ほとんどの学校において事務職員が「予算」を担当しているが、「予算委員会」が設置されている学校はまだまだ少ない状況です。効果的な予算運営を行う上で「予算委員会」が必要だと認識している事務職員は多いようです。

について

各校より学校予算事務、学校徴収金に関する取り組み、予算委員会が位置づけられている学校においては予算委員会設置までの経過と予算委員会の実践報告がなされ、各校とも保護者負担軽減を念頭に入れながら有効な予算執行に取り組んでいます。

<わたしたちが考える「予算委員会」のあり方>

職務内容研究ブロックでは、私たちが「学校運営」に参画する今一番の手だては、学校運営に必要不可欠な「学校財務（学校予算）」分野への参画であり、予算委員会設置と運営への主体的な取り組みであると考え、昨年度より「予算委員会のあり方について」を中心に研究を進めてきました。今年度は上記のとおり具体的実践例をとおしさらに交流を深めてきました。

「予算委員会」とは単に各予算額に合わせて配分・調整を行うのみでなく、学校教育目標に沿った学校運営を考え、予算執行を方向付けていく場所と捉えていく必要があります。「学校運営」を円滑に進めて行くには予算の裏付けが必要不可欠であり、「学校教育目標」達成に向けてどのような計画で学校予算を執行するのかを協議・確認・決定する機関である「予算委員会」を学校運営の要として、学校事務組織面（校務分掌表等）の中に明確に位置づけることが必要だと考えています。

職務環境研究ブロック

研究テーマ) 児童生徒・保護者・地域をむすぶ学校事務職員 行政機関と学校をむすぶ学校事務職員 そのための情報収集・選択・情報発信とは...

今までの取り組み 2002年度 研究テーマをふまえ、

実際に多方面(ex.地域の方々、PTA関係、市教委など)にアンケートや聞き取りを行い事務職員に対するニーズを探り、「学校事務」を見つめ直しました。各自の実践を冊子としてまとめ、発表も行いました。

教育研究所主催の「発声トレーニング」と話しの組み立て方の研修を受講し、児童生徒・保護者や地域の方々などと接する際のスキルを学習しました。また、研修を活かし「電話対応マニュアル」を作成しました。

2003年度

新規採用教員に「学校事務」について知ってもらうため、「学校事務」に関する冊子を作成、配布し説明会を8月下旬に行いました。

NOW! 『自分の学校をもっと知ろう!』

ということで、自分の視点からではなく 管理職に聞き取りを行い、「学校の特色」「教育目標にそった具体的な到達目標」「目標にむけて学校事務職員の関わり方(助言)」などを確認する作業を行っています。この取り組みは、すべての教職員との協働をめざす意味で重要な作業だと認識しています。



OA機器実践研究ブロック 研修企画班

研究目標 「みんなが使えるパソコンをめざして」

<今年度の研修内容> 今年度はアクセスについての研修

- * アクセスによる旅費事務
 - ・ 旅費コード検索(八尾市市教研)を活用しての旅費事務
- * アクセスによる予算事務・備品管理
 - ・ 物品コード表検索システムの研究

8月には研修企画班が中心になり教育研究所と連携し、事務職員研修を企画しました。研修会ではデータの使い方等、公開し交流しました。

OA 機器実践研究ブロック イントラパケッツ班

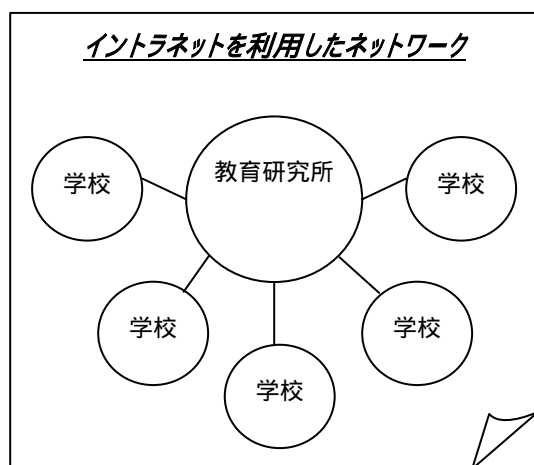
研究目標 学校情報ネットワークを作ろう



～ OA を利用した事務職員間の情報交流の研究～

学校事務部会の永遠の目標である「学校事務の確立」のためには、職務の標準化が欠かせません。職務標準表が通知されたとはいえ、個々の実務における方法・手段においては各校マチマチなのが現状であり、それぞれの学校規模や地域性などにより同じにできない部分は残るにせよ、まだまだ標準化できることは多く残されていると考えます。

学校事務職員の大部分が単数配置という現状の中で、学校事務に関する情報の交流・情報の共有がこれまで十分になされていなかったことが、この標準化が思うように進まない原因のひとつではないかと考え、現存する茨木市教育研究所のサーバーを中心としたイントラネット（イントラパケッツ）を利用することにより、従来、個人もしくは限られた範囲でしか保有・利用されていなかった情報（データ）を学校事務部会全体に広げられないものか試みてきました。



今後、学校をとりまくネットワーク環境は急速に整備され、「学校事務」における情報交流もよりいっそう活発となってくるでしょう。円滑な学校運営を行うための効率的・効果的な学校事務を創りあげるためにも、しっかりとした学校事務情報ネットワークの構築が必要と考え、研究を進めています。

OA 機器実践研究ブロック 統一様式作成班

研究経過報告

【目標】



学校事務で記入・提出する書類はたくさんあります。定型書類が多く、パソコンによる統一様式があると学校事務の効率化が図れます。そこで、統一様式作成班で研究を進めています。

6・7月

研究を始める様式のピックアップ

・受発件名簿・通話簿・公衆電話回収料金集計表・旅費請求(府事研)・予算差引簿
・要援給食費(教材費)請求書・転学用教科書給与児童生徒名簿・旅行命令簿兼旅行
明細書など、この中から統一できそうなものから研究を開始しました。

8月

部会で統一できそうな様式をフ
ロッピーにまとめ、班員が各自
試用しながら
研究しています。



9月

統一様式作成班では、イントラバケッツに班内でまとめつつある様
式を公開しています。関係機関との協議がまだなので個人名で発表
しています。ご覧になって、ご意見・ご要望・アドバイス等をいた
だければ、幸いです。



公開中

- ・通話簿 ・公衆電話回収料金集計表・公用国際電話報告書
- ・転学用教科書給与児童生徒名簿

10・11月

現在、関係機関との協議を準備中の様式は、

旅行命令簿兼旅行明細書(様式1)

旅行命令簿兼旅行明細書(同行者名簿)です。

一太郎・Word・Excel版(3タイプ)を予定しています。

今後の課題

発表・報告の機会をいただき、短い準備期間の中、部員の皆様の協力のもと、何とか部会交流という目的を達成できたと考えています。報告の際の最後にも言いましたが、学校に関わるすべての人々が「学校事務職員本来の役割」を求め、そして新しい学校づくりに活かしていただきたいと思います。そのためにも「学校事務」をもっと知っていただきたいと切望します。今後とも私たちの研究活動が茨木の教育の大きな力となるよう全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

文責 茨木市立豊川中学校 主査 井上 智弘